

教育民生常任委員会 行政視察報告 5月13日㊦～15日金

・広島県広島市「高齢者いきいき活動ポイント事業の取組について」
 ・(株)エーゼログループ(岡山県英田郡西栗倉村)
 「ローカルベンチャーによる地域活性化の取組について」

・岡山県久米郡美咲町「スマートシユリンクの取組について」

◎広島市 65歳以上の高齢者が健康づくりや地域貢献活動等を行った実績に応じてポイントを付与し、累積ポイントに応じて奨励金を支給する事業を実施しており、高齢者の社会参加促進と介護予防を両立する仕組みとなっている。今後本市の取組として、地域の担い手としての「生きがい対策」面も有しており、インセンティブを考えたデジタル化も検討しながら新たなポイント事業創出として参考となる内容であった。

◎エーゼロ エーゼログループ本社等を視察見学し、「ローカルベンチャーの創出支援」「地域おこし協力隊の積極活用」など移住者の新たな事業を生み出してきた過程や今後の展望を学んだ。

本市と行政規模は異なるものの『人への投資』や『挑戦を応援す



る仕組み(文化)」の重要性を学ぶことができた。

◎美咲町 人口減少を前提とした持続可能な地域運営と行政運営についての考え方を学んだ。

公共施設の統廃合・複合化の経緯や小規模多機能自治による住民主体の地域運営のあり方について町長自らの説明を受け、先を見据えた財政運営と地域づくりの両立について多くの示唆を得ることができた。そこには『住民との丁寧な合意形成』が必要不可欠であり、今後本市のビジョン達成に向けて、重要なことだと改めて認識する機会となった。



◎視察を通して

3市町村を視察し「人を支える仕組み(広島市)」「人を応援する仕組み(西栗倉村)」「地域を持続させる仕組み(美咲町)」と異なる視点からの人口減少社会への対応について見識を深めることができた。

・鳥取県八頭郡智頭町「森林資源の活用について」
 ・鳥取県倉吉市「周遊滞在型観光の取組について」
 「関金地区版シユタットベルケの取組について」

◎智頭町

智頭町では、町土の93%を占める森林を活かし、「智頭の山と暮らしの未来ビジョン」に基づくまちづくりが進められていた。特に「木の宿場プロジェクト」は、住民が搬出した間伐材や林地残材を地域通貨「杉小判」で買い取り、地域内で循環させる仕組みであり、森林整備と地域経済活性化を両立する先進的な取組であった。また、自伐型林業の推進や複業人材の活用、森林セラピーや木育活動など、森林資源を産業・教育・観光へ幅広く展開している点が印象的であった。



◎倉吉市

倉吉市では、白壁土蔵群や関金温泉などの地域資源を活かし、「レトロ&クールツーリズム」による周遊滞在型観光を推進していた。歴史的景観とポップカルチャーを

融合させた情報発信により若年層の誘客に成功しており、本市においても中心市街地や温泉地を結ぶ周遊観光の参考になると感じた。また、グリーンスローモビリティを活用した移動支援や観光客の回遊促進にも取り組んでいた。

さらに、関金地区版シユタットベルケでは、再生可能エネルギーの売電収益を地域交通へ還元する仕組みづくりが進められていた。人口減少や高齢化が進む中、地域課題をエネルギー事業の収益で支える発想は大変参考になった。



◎まとめ

今回の視察を通じて、地域資源を活用した持続可能なまちづくりには、住民参画と地域内経済循環の仕組みづくりが重要であることに再認識した。本市においても、豊かな森林資源や地熱資源を活かした施策の検討を進める上で、大変有意義な視察であった。